



**合**唱で多古町を元気にしたい。その呼びかけに集まった有志は、職業も年齢もさまざまな楽譜も読めない初心者ばかり。合唱をはじめ、文化活動は女性のイメージが強いですが『おろち』は伴奏者以外すべて男性。サークル名は八岐大蛇<sup>やまたのおろち</sup>や牛尾の蛇祭り、タコの足が8本など、いろいろな意味が込められ「男性も積極的に文化活動に参加し何でも巻き込んでいこう!」と、付けられました。昨年9月の発足時14名だったメンバーも、口コミや勧誘で32名となり、多古高校の石毛校長指導の下、練習に励んでいます。

月2回の活動は、肩の上げ下げなどで体をリラックスさせてから発声練習。指導にあたる石毛校長は音楽が専門で、多くの指導経験を持つベテランです。声の出し方や息遣いなども、丁寧に教えてくれます。裏声の練習は、フクロウや子牛の鳴き声をまねたり、歌詞も歌いにくければ「ルルル〜」を「ア〜」に変えたりと、指導法もユニークです。楽曲は「見

# サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

## 第43回 男声合唱サークル 『おろち』

- ①活動歴 6ヵ月
- ②年齢層 40代～80代の男性
- ③活動場所 コミュニティプラザ 多目的ホール
- ④活動時間 毎月第1・3火曜日 19:00～21:00
- ⑤代表者 郡司辰之助(ぐんじたつすけ)
- ⑥連絡先 事務局 小川 ☎75-0417

上げてごらん夜の星を」「黒田節」「どじょっこふなっこ」など、歌いやすいものをジャンルにこだわらず選曲し、レパートリーを増やしています。

指揮をしながら石毛校長も一緒に歌うので、その声に引っ張られるように、メンバーの声も気持ちも高まります!こもり気味だった声が、

だんだん伸びやかになり、美しいハーモニーが生まれる瞬間は、鳥肌がたつほど!!歌声をひとつに合わせる高揚感は、一人で歌うカラオケなどでは得られないもの。メンバーは「一人ひとりの声に自信はなくても、みんなで歌うとなかなか良い声になる」と、表情も晴れやかです。

発表の場を設け“やりがい”を持たせようと、4月に行われる『スプリングコンサート』に出演予定で、今後は町をPRする替え歌にも挑戦したいと意欲満々です。8月に多古町で開催される『関東おとうさんのコーラス大会』。そのサポート、そして合唱ミュージカルに出場するのが目標です。『おろち』と『多古』の名を全国に轟かせる日も、遠くはないかもしれません。ただ今メンバー募集中!!皆さんの参加をお待ちしています。



### 編集後記

★1月25日に開催された「近隣中学校駅伝大会」は、多古高校陸友会や多古ライオンズクラブなどが主催する伝統ある大会です★49回目を迎えた今年は、大声援を受けながら走った地元多古中チームが見事準優勝に輝きました★印象に残ったのは閉会式直後の光景。優勝した小見川中と準優勝の多古中の両チームが、それぞれ主催者や関係者らの前に一列に並び「ありがとうございました」と深々と頭を下げました★先生方の指導による部分もあるかもしれませんが、わたしが見ていた限り、きちんとあいさつをして帰ったのは、この2チームのみ。両チームが好成績を残した理由が分かったような気がしました★来年は記念の50回大会優勝目指して頑張れ多古中!

★今月の表紙となった「心から」の学習。人が生まれる確率は、5億分の1という奇跡!!自分の命はもちろん、他人の命も大切にしようということ学びました★その数日後、受験の付き添いで久々のお江戸へ。その際に訪れた「相田みつを美術館」で、思わず足を止めた詩がありました。「道」という詩で、人は辛く苦しいときこそ命の根が深くなるという一節があり、わたし同様たくさんの方が、それぞれの想いを胸に佇んでいました★生きていけると楽しいことより、辛いことや苦しいことの方がたくさんあります。でもその経験が人を成長させるんですね。わたしの人生も(たぶん)折り返し地点。人としての道を、精一杯歩んでいかなければと思う41回目の春です。